学校番号	T0301

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ（通信）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新版世界史Ａ 新訂版　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

激動する現在の世界の中で、国際社会を理解するには世界史を学習することが必要です。特に、世界史の中で日本の歴史を考えることは大変重要なことです。21 世紀の国際社会で我々はどのように考えるべきかを学んでください。まず、世界の大きな枠組みを理解し、歴史地図や年表を活用しながら学習を進めます。

そして、「その国は世界のどこに位置するのか？」「現在は何という国になっているのか？」を知ると学習が早く進みます。また、人物名を覚えるだけでなく、その人物が歴史の中で果たした役割を知ることや戦争・革命などが起こった理由が何かを知ることも大切です。

2　学習の到達目標

・世界の歴史の枠組みを知り、地理的条件や世界と日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性と複合性を考えることができる。
・歴史的思考力を育て、国際社会で活躍する者としての自覚を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史の歴史に関する関心と課題意識をもち、国際社会に生きる者として、国際理解を進める態度をもつ。	世界の歴史から課題を見つけ出し、文化の多様性やその国の特質を多面的に理解し、公正に判断し、その歴史的過程を適切に表現している。	近現代史の歴史に関する諸資料を収集し、有用で公正で、正確な情報を選択して、図表等にまとめる力をもっている。	近現代史の歴史に関する基本的な知識を、地理的条件や世界と日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	定期考査 ワークシート 課題レポート	定期考査 ワークシート 課題レポート	定期考査 ワークシート 課題レポート	定期考査 ワークシート 課題レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	ユーラシアの諸文明と交流	・文明のはじまり ・東アジア世界 ・オリエント・地中海世界 ・ヨーロッパ世界	○	○	○	○	a: ユーラシアに形成された諸文明の特質に対する関心を高め、意欲的に学習しようとしている。 b: ユーラシアの諸文明と交流の特質を日本と関連付けて、多面的に考え、その過程や結果を適切に表現している。 c:その国のその時代の文字史料、絵画、遺物などの資料から必要な諸資料を収集し、情報の取捨選択をしている。 d: ユーラシアの諸文明と交流の特質についての歴史的事象を日本と関連付けて、理解し、知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 課題レポート
	一体化に向かう世界と日本	・ルネサンスと宗教改革 ・大航海時代 ・絶対王政の時代 ・ヨーロッパ諸国の展開 ・主権国家の誕生	○	○	○	○ ○	a: 主権国家体制の成立と地球規模での交流の始まりに対する関心を高め、意欲的に学習しようとしている。 b:主権国家体制の成立と地球規模での交流の始まりを日本と関連付けて、多面的に考え、その過程や結果を適切に表現している。 c:その国のその時代の文字史料、絵画などの資料から必要な諸資料を収集し、情報の取捨選択をしている。 d: 主権国家体制の成立と地球規模での交流の始まりの歴史的事象を日本と関連付けて、理解し、知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 課題レポート

後期	ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界の変動	・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命 ・ナポレオンとウィーン体制 ・19 世紀後半のヨーロッパ ・19 世紀のアメリカ ・東アジアの変動	 ○ ○ 	 ○ 	 ○ 	○ ○ ○	a: ヨーロッパ地域を中心とする世界の一体化に対する関心を高め、意欲的に学習しようとしている。 b:ヨーロッパ地域の特質と繁栄を日本と関連付けて、多面的に考え、その過程や結果を適切に表現している。 c:その国のその時代の文字史料、絵画などの資料から必要な諸資料を収集し、情報の取捨選択をしている。 d: ヨーロッパ地域を中心とする世界の一体化の歴史的事象を日本と関連付けて、理解し、知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 課題レポート
	現代世界のあゆみ	・帝国主義と世界分割 ・第一次世界大戦 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ・各地の民族運動 ・世界恐慌とファシズム ・第二次世界大戦 ・国際連合と冷戦 ・冷戦後の世界 ・21 世紀の世界	 ○ ○ 	 ○ ○ 	○ ○ 	 ○ ○	a: 二度の世界大戦と世界の枠組みの変化に対する関心を高め、意欲的に学習しようとしている。 b:二度の世界大戦と世界の枠組みの変化を日本と関連付けて、多面的に考え、その過程や結果を適切に表現している。 c:その国のその時代の文字史料、絵画、写真などの資料から必要な諸資料を収集し、情報の取捨選択をしている。 d:二度の世界大戦と世界の枠組みの変化の歴史的事象を日本と関連付けて、理解し、知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 課題レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。